

百一夜物語におけるミソジニーに隠されたミサンドリー

国際言語文化学部 国際日本文化学科

教授 鷺見 朗子

研究種目： 基盤研究(C)

研究期間： 2018年度～2020年度

研究分野： 文学一般関連



主な著書

Tetsuo Nishio, Shizuka Nakamichi, Naoko Okamoto, and Akiko M. Sumi. "4. Manuscripts of the One Hundred and One Nights" in "The Arabian Nights and Urban Middle-class Cultures in the Arab World: Revisiting the Formation of the So-called Egyptian Recension." *MINPAKU Anthropology Newsletter* No.44, National Museum of Ethnology Osaka, June 2017, pp.5-9.

Akiko M. Sumi. "Dirasah Muqaranah li-l-Mir'at wa-al-Jamal bayna al-Hikayah al-Itariyyah li-l-Kitab Mi'at Laylah wa-Laylah wa Hikayah Budhiyyah Siniyyah min Taisho Toripikata." [「百一夜物語」の枠物語：鏡と美（アラビア語） *Le bulletin de la 7eme journee arabe de litterature comparee et du Dialogue des cultures, L'Etude comparee et le dialogue des litteratures*, vol.7, 2015, pp.113-125. 【査読あり】

鷺見朗子編著『アラビアンナイトと北アフリカの物語』（2013年に実施したタルシューナ国立チュニジア大学名誉教授、青柳悦子筑波大学教授、鷺見朗子の講演による講演会およびアラビア語写本ワークショップの講演録）「文化の航跡」刊行会2014年

Akiko M. Sumi. "The Mirror and Beauty: The Frame Tale of the 101 Nights and a Chinese Buddhist Tale from Taisho Shinshu Daizokyo." Department of Arabic and Islamic Studies, Georgetown University (Washington D.C., USA) 2013年3月13日

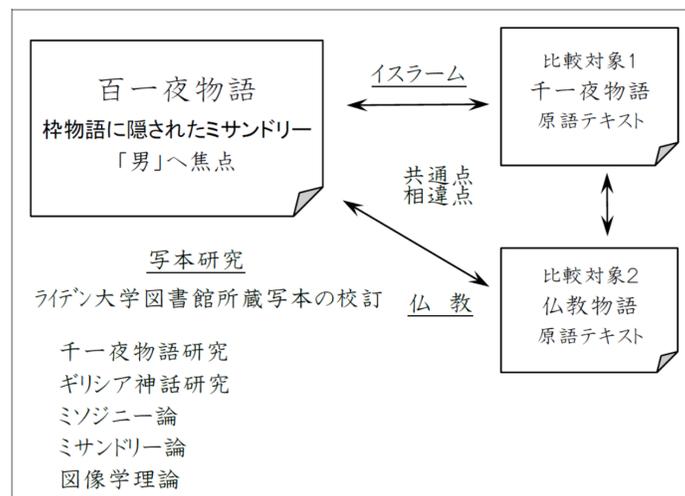
鷺見朗子訳『百一夜物語—もうひとつのアラビアンナイト—』（「解説」を含む）河出書房新書 2011

本研究の主な目的は、千一夜物語との類似で注目されてきた百一夜物語の枠物語の展開のなかで、ミソジニー（女嫌い）に隠されたミサンドリー（男嫌い）の要素を明らかにすることである。百一夜物語については、複数の写本まで遡り、写本校訂と形態学的調査を行うことで、詳細な理解に努める。また、この枠物語と、内容が酷似する漢訳大藏經中の物語及び千一夜物語の枠物語との関係性を精査する。そして、仏教とイスラームの宗教的背景が物語解釈に及ぼす影響も解明する。

学術的価値は未だ研究されていない独自の目標にある。それは、百一夜物語と千一夜物語における枠物語への新しい見解の提示、仏教物語を含めた宗教の影響の解明、それら物語における男性と女性への視点の新たな解釈、百一夜物語の複数の写本間の比較による詳細な分析である。



アガハーン美術館所蔵
「百一夜物語」写本の1葉目



本研究の目的に関する要素間の関係

京都ノートルダム女子大学
研究・情報推進課

電話：075(706)3789
FAX：075(706)3793

電子メール：kenkyu@notredame.ac.jp